

Contents

- 2-5 高知県町村長・町村議会議長大会
 - 5 当選首長の紹介
 - 6 高知県町村会 定例会
 - 新役員の紹介
 - 新会長就任のご挨拶
- 7 議長会 定期総会

町村 まち

2025

3

Mar



地方財政の充実・強化及び地方創生の推進など6議題及び 四国新幹線の整備促進に関する特別決議など3議題を決定



開会挨拶をする池田 町村会長

令和7年2月21日、高知県町村会と高知県町村議会議長会は、ザクラウンパレス新阪急高知において高知県内23町村の町村長・町村議会議長が一堂に会する高知県町村長・町村議会議長大会を開催した。この大会は、議会と執行部という立場を超えて「地域を元気にする」という強い信念のもと、町村の抱える諸課題について審議し、その実現のため、お互いに連携を密にしながら、一体となった政務活動を積極的に展開することを目的に平成23年から開催し、今回で15回目の開催となる。

主催者を代表して池田 町村会長（津野町長）が開会の挨拶に立ち、続いて本大会の意義を明確にするため、小田 町村会副会長（越知町長）が宣言（案）の朗読を行い、満場の賛同を得て、原案どおり本大会の宣言が決定された。

次に来賓祝辞に移り、濱田 高知県知事、加藤 高知県議会議長、吉田 全国町村会長及び渡部 全国町村議会議長から祝辞をいただいた。



大会議長を務める筒井 町村議会議長

議事に先立ち、筒井 高知県町村議会議長会長（いの町議会議長）が議長に選出され、要望事項である6議題を、山崎馬路村長、西元 津野町議会議長、中尾 四万十町長、福島 東洋町議会議長、松本 芸西村長、小笹 田野町議会議長が提案理由の説明を行い、満場一致で採択・決定した。

その後、本大会の決議及び特別決議の速やかな実現に向けた実行運動方法について、両会会長への一任を確認し、大会を終了した。



来賓の
濱田 高知県知事



来賓の
加藤 高知県議会議長



来賓の
吉田 全国町村会長



来賓の
渡部 全国町村議会議長

宣言

本県の町村の多くは農山漁村地域にあり、文化・伝統の継承はもとより、食料の供給、水源かん養、自然環境の保全等、県民生活にとって極めて大きな役割を果たしてきた。

新鮮な海山川の幸で彩られる郷土料理の数々をはじめ、四万十川や仁淀川に代表される清流、黒潮薫る群青の海のかなたに円弧を描く水平線、今にも手が届きそうな空が広がる四国カルストといった自然が織りなす絶景など、沢山の方々に伝えたい魅力があふれている。

このように、県民共有のかけがえのない財産であり、県民の「心のふるさと」である農山漁村を次世代に引き継いでいくことが我々の責務である。

一方で、物価高騰等による国民生活及び経済活動への影響が深刻化しており、加えて、自然災害も頻発している。

さらに、県内においては、長引くコロナ禍への対応や急速に進展する少子・高齢化や若年層の人口流出、脆弱な財政基盤、基幹産業である農林水産業の衰退など、多くの課題を抱えており、我々町村は、これらの解決に向け真正面から強い覚悟をもって懸命に取り組んでいる。

この非常に困難な状況を打開すべく、国と地方は「地方の再生なくして日本の再生なし」という強い信念を持ち、地方独自の創意工夫や国・地方の緊密な連携のもと、人口減少の克服と地方創生の充実・強化に総力を挙げて取り組んでいかなければならない。

我々23町村の町村長と議長は、人々が地域に誇りを持ち、希望と活力に満ち溢れた社会を実現するため、決意も新たに、持てる限りの英知と努力を傾注することをここに誓うものである。

以上、宣言する。

令和7年2月21日
高知県町村長・町村議会議長大会

決議

- 1 地方財政の充実・強化を図り、地方創生を推進すること
- 1 農林水産業の振興対策及び農山漁村の活性化対策を強化すること
- 1 南海トラフ地震対策及び防災・減災対策を推進すること
- 1 医療・福祉施策を充実・強化すること
- 1 交通基盤等インフラ整備を促進すること
- 1 脱炭素社会の実現に向けた取組をより一層推進すること

特別決議

- 参議院選挙の合区見直しに関する特別決議
- 「議員のなり手不足対策」及び議会への多様な人材の参画に関する特別決議
- 四国新幹線の整備促進に関する特別決議



宣言を朗読する
小田 町村会副会長



提案理由の説明をする
山崎 馬路村長



提案理由の説明をする
西元 津野町議会議長



提案理由の説明をする
中尾 四万十町長



提案理由の説明をする
福島 東洋町議会議長



提案理由の説明をする
松本 芸西村長



提案理由の説明をする
小笹 田野町議会議長



決議を朗読する
黒岩 安田町長

参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議

日本国憲法が昭和22年に施行されて以来、二院制を採る我が国において、参議院は一貫して都道府県単位で代表を選出し、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきたが、平成28年以降、4度の合区による選挙が実施された。

その結果、比例代表に新たに「特定枠」が導入されたものの、投票率の低下や直接候補者と接する機会の減少、自県を代表する議員が出せないなど、合区を起因とした弊害は明らかである。

これからの時代の「この国のあり方」を考えていく上で、多様な地方の意見が国政の中でしっかりと反映される必要があり、都道府県ごとに集約された意思として参議院を通じて国政に届けられなくなることは極めて問題であり、地方創生や安心安全な国づくりにも逆行するものである。

合区に対しては、地方六団体の全団体において合区の早期解消を決議しており、合区問題の抜本的な解決は「地方の総意」でもある。

ついでに、都道府県単位による代表が国政に参加できる選挙制度とするため、憲法改正も含め「参議院の合区解消」を早急に実現することを強く求める。

以上、決議する。

令和7年2月21日
高知県町村長・町村議会議長大会



特別決議を朗読する
松浦 佐川町議会議長

「議員のなり手不足対策」及び議会への多様な人材の参画に関する特別決議

町村議会は、地域が抱える様々な課題の解決に向け、多様な住民の声を集め、その負託にこたえて議論を重ね、地方公共団体の意思決定を行うなど、日々、精力的に活動している。

しかしながら、近年の町村議会議員選挙においては、投票率の低下とともに、無投票当選者の割合が増加し、一部の町村では定数割れも生じるなど、議員のなり手不足が深刻化している。

このような状況を打開し、多様な人材が議会に参画できるようにするためには、議会の機能強化を図るとともに、立候補を阻害する要因を取り除き、志を抱く誰もが議員として活躍できる環境を整備しなければならない。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、下記の事項について早急に実現するよう強く要望する。

記

- 1 議員のなり手不足による地方自治の弱体化が将来的に我が国の民主主義にも影響を与え得ることを踏まえ、町村議会が行うなり手不足対策に財政支援を行うこと。
- 1 町村議会の議員報酬はそれだけでは生計を維持できないほどの低水準であることから、若者や女性、会社員などが議会に参画できるよう、議員報酬に生活給的要素を加味するとともに、長との権衡を考慮して定めることを地方自治法に規定すること。
- 1 国民の幅広い政治参加や地方議会への多様な人材参画を促進する観点及び厚生年金の適用拡大が進んでいる状況を踏まえ、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現すること。
- 1 若者や女性、会社員など多様な人材の議会への参画を促進するため、議員への立候補や議会・議員活動のための休暇・休職制度と議員退職後の復職制度を整備すること。
- 1 地方自治法の改正により地方議会の役割及び議員の職務等が明文化されたことも踏まえ、地方議会に対する住民の理解と関心を深め、多様な人材の参画を促すため、主権者教育を一層推進し、更なる地方議会の啓発を行うこと。特に、議会自らが主体的に行う出前講座や模擬議会などの主権者教育の取組に対する支援を講じること。

以上、決議する。

令和7年2月21日
高知県町村長・町村議会議長大会



特別決議を朗読する
中城 中土佐町議会議長

四国新幹線の整備促進に関する特別決議

全国各地で高速鉄道ネットワークの整備が着々と進む中、四国は全国の中で唯一新幹線の空白地帯となっており、四国地方の発展を図っていくためには、圏域内と大都市を結ぶ高速交通ネットワークの整備が不可欠である。

基本計画路線と位置付けられた路線については、順次整備が進められ北陸新幹線は2024年に、敦賀まで開業し、その後、京都、新大阪まで、また、北海道新幹線は、2030年度末に札幌まで延伸する計画であるのに対し、四国新幹線は未だ、基本計画のままである。

こうした中、2023年の政府の経済財政運営の指針「骨太方針」に、四国新幹線を含め1973年から基本計画路線にとどまっている路線の方向性について調査検討を行うと基本計画路線に関する調査が初めて盛り込まれた。

四国に新幹線が整備されれば、四国内における移動時間の大幅短縮のみならず、四国から移動できる範囲が大幅に広がることにより、交流圏と交流人口が拡大し、関西、九州など既存の新幹線ネットワークとの接続による広域交流圏が形成されることが期待される。

これらのことは、今後の我が国の経済成長をけん引する地方の発展を支え、地域活性化と未来に繋がるまちづくりを促進するとともに、さらに2050年のカーボンニュートラル社会の実現のためにも、一日も早い整備が望まれている。

よって、国においては、四国新幹線について早急に整備計画への格上げ及び早期実現に向けた措置を講じられるよう強く求める。

以上、決議する。

令和7年2月21日
高知県町村長・町村議会議長大会



特別決議を朗読する
和田 土佐町長

当選首長の紹介

大豊町長

しもむら やすひこ
下村 賢彦 氏 (56)



【経歴】

平成2年3月 高知短期大学卒業
昭和62年10月 大豊町職員採用
平成29年4月 大豊町プロジェクト推進室長
令和2年4月 大豊町総務課長
令和3年2月 大豊町職員退職
令和3年2月 大豊町副町長就任
令和6年3月 大豊町副町長退任
令和6年12月 大豊町長就任
現在に至る

ご挨拶

この度の町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ各方面のあたたかいご支援により、新たに町政運営を担わせていただくこととなりました。

健全な財政に支えられた信頼される行財政運営のもと、「暮らし働ける環境づくり」、「安心して元気に暮らせる地域づくり」、「未来へつなげる土台づくり」を目指したまちづくりに全力で取り組んで参ります。

津野町長

いけだ みつお
池田 三男 氏 (70)



【経歴】

昭和48年3月 須崎高等学校卒業
昭和49年5月 旧葉山村役場入り
平成17年2月 津野町総務課長
平成17年3月 助役就任(平成19年4月から副町長に名称変更)
平成21年2月 津野町長就任
令和7年2月 津野町長再選(5期目)
現在に至る

ご挨拶

この度、5期目の町政の舵取りを担わせていただくことになりました。緩やかな人口減少に抑えながら、地域経済を延ばしていくため、若者が安心して居住し働けるよう産業振興による雇用創出を推進し、元気な高齢者が地域の人材として地域活動や様々な産業に就労できる環境づくり、そして若者や子育て世代から選ばれるまちに向けて、魅力ある子育てや特色ある教育など希望を叶えられる環境づくりにも取り組んでまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

高知県町村会 令和6年度第2回定例会開催 令和7年度一般会計予算等を可決

令和7年2月21日、高知県町村会は、ザクラウンパレス新阪急高知において、令和6年度第2回定例会を開催した。

池田会長の挨拶の後、去る1月23日に全国町村会から自治功労者として表彰された町村長に対し、表彰の伝達が行われた。続いて議事に移り、令和7年度一般会計予算を含む4議案が審議され、原案どおり可決、承認された。

次に任期満了に伴う役員選挙が行われ、会長に上村誠 北川村長、副会長に和田守也 土佐町長及び大西勝也 黒潮町長、監事に黒岩之浩 安田町長及び片岡雄司 佐川町長が選任された。

全国町村会自治功労者表彰

町村長就任3期

黒岩之浩 安田町長
池田 牧子 いの町長

町村長就任4期以上の者で 当該職を辞した者

戸梶 眞幸 前日高村長



伝達を受ける池田 いの町長



伝達を受ける黒岩 安田町長



新役員紹介

監事
片岡雄司 佐川町長

監事
黒岩之浩 安田町長

副会長
大西勝也 黒潮町長

副会長
和田守也 土佐町長

会長
上村誠 北川村長

新会長就任あいさつ

会長 上村 誠

この度、高知県町村会会長に就任いたしました北川村長の上村と申します。皆様のご支援ご協力を賜りながら、大役を務めさせていただきます。

さて、国立社会保障・人口問題研究所は令和5年4月に将来人口推計を公表しました。その結果、人口戦略会議によって県下23町村のうち19町村が消滅可能性町村として公表されました。しかし、公表されなかった町村を含めた全町村が、少子高齢化に端を発し、急激な人口減少に見舞われております。そうした状況において、令和7年度より高知県が人口減少対策を最重要課題に位置づけ、本格的に取り組むこととなったのは、非常にいい機会に恵まれたと捉え、人口減少速度を少しでも緩和させられるよう、事業の展開を図らなければならないと考えます。

そして、23町村は、それぞれ地方創生を掲げ「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、懸命に取り組まれておられると思いますので、その戦略に基づき、諸問題を解決し、それぞれの町村が永続できるようなるための施策を講じられるよう県下全町村が連携し、国や県にしっかり声を上げ、財政対策を含め必要な制度などの整備を求めていかなければならないと存じます。

微力ではありますが、精いっぱい務めてまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

第76回議長会定期総会開催 町村議会表彰は芸西村議会が受賞

高知県町村議会議長会は、去る2月21日、高知県自治会館に県内23町村の議長、事務局長等45名が集い、第76回定期総会を開催した。

開会冒頭の筒井会長（いの町議会議長）の挨拶に続いて、全国町村議会議長会の自治功労者表彰及び町村議会表彰の伝達式が行なわれた。（被表彰者は後記記載）

引き続き、総会議長に津野町議会の西元和代議長を指名選出し議事に入った。議事では、会務報告、役員異動報告及び令和5年度一般会計決算報告が行われた後、令和7年度一般会計予算議案等4議案を原案どおり可決した。



定期総会の様子

全国町村議会議長会表彰

自治功労者表彰

【議長7年以上在職者】
中土佐町 中城 重則
梶原町 土釜 清
四万十町 味元 和義

【議員50年以上在職者】
該当者なし

【議員27年以上在職者】
東洋町 今宮 裕明
佐川町 永田 耕朗
四万十町 堀本 伸一

【議員15年以上在職者】
田野町 高島 俊彦
東洋町 (故)西岡 尚宏
中土佐町 中城 重則
佐川町 森 正彦
津野町 川上 昭英
津野町 智子

【町村議会議員特別表彰者】
中土佐町 議長 中城 重則

【町村議会表彰】
芸西村議会

【議会広報全国コンクール表彰】
越知町議会



自治功労者表彰(議員15年以上在職者)を受ける佐川町議会 森議員



自治功労者表彰(議員27年以上在職者)を受ける佐川町議会 永田議員



自治功労者表彰(議長7年以上在職者)を受ける梶原町議会 土釜議長



議会広報全国コンクール表彰(編集・デザイン部門奨励賞)を受ける越知町議会 小田議長



町村議会表彰を受ける芸西村議会 仙頭議長



自治功労者表彰(町村議会議員特別表彰)を受ける中土佐町議会 中城議長

NEW
宝くじ

宝くじ
公式サイト

すぐ買える 当たりがわかる クイックワン

Quick One

クイックワン

宝くじ
公式サイトで
発売中!



今すぐ会員登録!

宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

宝くじの収益金は
私たちの街の公共事業等に
役立てられています。

